

全鉄連流通動態調査結果表 2019年9月分

(2019.10.23)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		8月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	7,080	96.8%	46,372	104.9%	46,089	103.7%	7,363	104.0%	
	大阪	2,970	104.5%	16,717	109.1%	17,090	112.5%	2,597	87.4%	
	愛知	5,587	97.6%	7,158	130.4%	7,145	127.0%	5,600	100.2%	
	計	15,637	98.5%	70,247	108.0%	70,324	107.7%	15,560	99.5%	
形鋼	山形鋼	東京	18,365	102.2%	8,475	91.2%	8,348	93.9%	18,492	100.7%
		大阪	20,634	93.3%	8,404	126.9%	9,535	117.7%	19,503	94.5%
		愛知	13,357	96.6%	6,592	116.9%	6,753	110.6%	13,196	98.8%
		計	52,356	97.1%	23,471	108.9%	24,636	106.6%	51,191	97.8%
	溝形鋼	東京	15,335	100.0%	6,601	120.9%	6,369	116.8%	15,567	101.5%
		大阪	11,725	90.9%	5,755	159.5%	5,826	121.9%	11,654	99.4%
		愛知	8,796	99.8%	4,884	106.7%	5,224	113.7%	8,456	96.1%
		計	35,856	96.8%	17,240	126.3%	17,419	117.5%	35,677	99.5%
	H形鋼	東京	35,325	97.0%	17,332	119.4%	19,066	122.3%	33,591	95.1%
		大阪	45,065	90.7%	25,706	139.7%	27,832	120.9%	42,939	95.3%
		愛知	24,675	103.2%	11,808	94.1%	13,517	114.7%	22,966	93.1%
		計	105,065	95.5%	54,846	120.6%	60,415	119.9%	99,496	94.7%
合 計		193,277	96.2%	95,557	118.5%	102,470	116.0%	186,364	96.4%	
コ ラ ム	東京	10,011	93.5%	2,496	99.6%	3,000	93.6%	9,507	95.0%	
	大阪	11,863	100.0%	5,261	112.7%	4,660	99.8%	12,464	105.1%	
	愛知	3,482	103.1%	1,542	87.3%	1,457	87.7%	3,567	102.4%	
	計	25,356	97.7%	9,299	104.0%	9,117	95.6%	25,538	100.7%	
軽量C形鋼	東京	3,284	106.0%	2,084	87.5%	2,372	108.1%	2,996	91.2%	
	大阪	3,318	104.3%	1,462	77.3%	1,787	101.9%	2,993	90.2%	
	愛知	3,037	102.9%	1,397	88.9%	1,594	107.4%	2,840	93.5%	
	計	9,639	104.4%	4,943	84.6%	5,753	105.9%	8,829	91.6%	
総 計		243,909	96.8%	180,046	112.2%	187,664	111.3%	236,291	96.9%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知16 合計66社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。